

# 大久保花たより

大慶寺住職

阿部雄山

NO 3

7月14日

## 植樹樹木の整備協力ありがとうございます

○参加者23名

6月30日に盆を迎えるために共同墓地と墓地周りの除草を行いました。残念ながら今年の3月に植えた桜の数本は鹿の仕業と思いますが、幹の先端が折られてしまいました。また、1本は枯れていました。しかし、他の緑化木ほとんど無傷のまま成長していました。今後もあと10年間今年並のペースで植栽を進め、霊園墓地のようにできれば墓地に眠るご先祖も満足するものと思います。また、自分たちも眠る場所でもあります。今後も作業を行いますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

今回は丈が伸びて眺望を邪魔していた生け垣（槇の木）の剪定も終わることができ、目の高さにそろえることができました。併せて伸び放題だったクチナシの木、つつじも剪定し墓地全体が明るくなりました。私の予想以上に多くの会員が草刈り機を持って参加していただき全員で自分の墓地・他人の墓地に関わらず協力して短時間（1時間）に広い共同墓地全体を整備することができました。お礼申し上げます。



作業前の入り口



作業前の墓地西側



東駐車場の草刈り作業



槇の木の選定作業



作業後の入り口



作業後の駐車場から見た墓地

○寄付樹木（山本俊一氏） クチナシ（大輪八重）、つつじ、スイセン

花言葉 スイセンー「うぬぼれ」、「自己愛」クチナシー「幸福者」、「優雅」  
つつじー「情熱」「初恋」



## 今後の予定

9月15日（日）9：00 秋の彼岸の準備

作業内容縞狩り？（地ごしらえ） 一来年の桜の植栽準備と墓整備

準備物草刈り機、鎌、鋏、剪定ばさみ

### 【雑感】

今年の春、桜で有名な「吉野の桜」に何かの参考にと行ってきました。確かに噂どおりスケールの大きさは圧巻でした。しかし、一山全体が白山桜は予想に反して味気ない物でした。太閤秀吉が「一目千本」と表した吉水社からの遠望、金峯山寺をバックにした景色も何か趣を感じませんでした。やはり、山桜はいろいろな木々の中でひっそりと咲いている姿がふさわしいと思いました。